

目 次

論文（一般投稿）

今城希望・阿部哲理・小守林真実・石川遥至・牟田季純・越川房子

2種類の瞑想の実施順序が瞑想初心者に与える影響——主観評定と脳波を指標として——……………1

夏 心言

情与理的和谐——清代宫廷花部曲本对小说情节的继承与改造……………9

稀代麻也子

沈約『宋書』の何承天……………(1) 524

後藤 渡

De la mémoire collective à la mémoire préhumaine dans l'espace commun de *La Vie mode d'emploi* :
la porte et l'ascenseur……………21

崔 鵬偉

仏教靈驗譚と絵画の中の天童——『高僧伝』から『今昔物語集』へ——……………(9) 516

佐々木大輔

彫像とその幽霊——シュルレアリスムにおけるジョルジョ・デ・キリコの神話……………35

柴崎公美子

「説唐」における休妻故事について……………(25) 500

高安理保

Les Rivaies, « coup d'essai » de Quinault, poète de la surprise……………47

田中垂美

『江島縁起』悪龍教化譚の典拠表現……………(37) 488

田中雅史

ヒトと動物の比較文化論……………61

陳 艶林

清傳奇《鸚鵡夢記》及其作者趙關曉考……………73

戸嶋 匠

相対化の文体、その綻び——G. ビューヒナー『レンツ』とH. v. ホーフマンスタール『アンドレーアス』——……………83

豊田真穂・嶋崎尚子

「尚道遠し」：1950年代常磐炭礦における受胎調節指導とその成果……………95

中村 涼

カント倫理学における可想界の概念……………109

名原宏明

「無原罪の御宿り」の図像における地上の風景表現——ペドロ・デ・メナの彫刻作品を中心に——……………121

長谷部圭人	
18世紀フランスにおける種痘論争の始動——1723-1754年の展開を中心に——	135
藤原秀之	
「宝玲文庫」復元の可能性について——F. ホーレー遺品資料中の蔵書目録と現存資料の同定の試み——	149
福田淑子	
カルロ・クリヴェッリ作《無原罪の宿り》——天使が捧持する冠についてのスコラ学的解釈——	165
古屋詩織	
アンドレ・マッソンにおける東方——シュルレアリスムのオートマティスムと東洋絵画との交差——	179
三浦清美	
アキル＝アヒカル物語群（中近東、スラヴ地域）と棄老伝説難題型（東アジア、インド）の一致をめぐる考察——物語の構造分析から歴史へ——	191
村山雄紀	
接触の瞬間——ロジェ・ド・ピールの絵画論における視覚と触覚の両義性をめぐって——	205
山本佳生	
「ロキ・コムーネス」教育とコモンプレイスブックの出現	219
楊卓婧	
平安仮名文学における「絵に描きたるやう」と「絵に描かまほし」	(51) 474
渡辺浩太	
道徳的観点における他者性の契機	231
渡邊義浩	
『墨子』の非攻と『孟子』の義戦	(65) 460
研究ノート・翻訳・翻刻・報告書・書評（一般投稿）	
大澤茉歩	
早稲田大学図書館蔵「仏鬼軍絵巻」翻刻と解題	(73) 452
呉心怡・谷川遼・横山未来・高橋亘・岸田彩	
千葉県印旛郡栄町みそ岩屋古墳の測量・GPR調査	243
清水悠佑	
宮廷派としての《カール大帝福音書》とその位置付け	263
張龍龍	
台湾における大陸籍〈青年兵士〉の定着： 1960年代から1970年代の家族形成、退役、就職を中心に	273
谷口眞子	
【書評】竹本知行『大村益次郎—全国を以て一大刀と為す—』（ミネルヴァ書房、2022年3月）	287
長尾天	
憂鬱なイコノロジー——20世紀美術史と美術史学の同時代性をめぐる一視座——	293

益田朋幸 The Virgin Orans in Byzantine Apse Decoration	309
特集1 RILAS 研究部門「トランスナショナル社会と日本文化」	
「近世日本の海外知識、海外の近世日本知識」	325
米谷 均 キリシタン宗門に対する非キリシタンの認識——キリシタン宗門は「仏法」の一部か否か——	326
権名 浩 関係断絶期のスペイン認識——情報と史料の類型	331
サボー・ノエミ 近世ハンガリーにおいて新聞記事に掲載された日本に関するニュース	337
特集2 RILAS 研究部門「グローバル化社会における多元文化学構築」	
国際シンポジウム「東アジア文化交流—古代・中世仏教の相互往来—」	343
特集3 RILAS 研究部門「イメージ文化史」	
「私たちは立ち上がる——『燃ゆる女の肖像』における生の取り戻し」	357
原田麻衣 まなざしの平等性と語りの視点	357
横田祐美子 絵画における「生き生きとしたもの」——『燃ゆる女の肖像』に織り込まれた記憶	363
辻 佐保子 「振り返ってよ」——『燃ゆる女の肖像』の音楽と幻影に見る回想のドラマトゥルギー	368
久保 豊 彼女の唇をもう一度味わうために——『燃ゆる女の肖像』にみる孤食と共食の表象	374
関根麻里恵 「なかったこと」にしないための協同作業——『燃ゆる女の肖像』における中絶表象	380
特集4 RILAS 研究部門「知の蓄積と活用に向けた方法論的研究」	
「ライフコース論×環境社会学」	387
廣本由香 『つながりの戦後史』を読む	388
笠原良太 『鳥栖のつむぎ』を読む	393
西城戸 誠・嶋崎尚子・大倉季久 コメント・ディスカッション	397

特集5 RILAS 研究部門「心と身体の関係と可塑性に関する学際的研究」

「日本ソマティック心理学協会第8回記念大会2021」……………409

宮田裕光

日本ソマティック心理学協会第8回記念大会2021——開催の概要——……………409

越川房子

マインドフルネス——注意と身体——……………412

山部能宜

身心相関の観点からみた禅定の実践——アーラヤ識説をてがかりに——……………414

宮田裕光

横断する身体と心の研究と実践——哲学、心理学、医療をつないで——……………416

彙報

総合人文科学研究センター 活動報告（2021年4月1日～2022年3月31日）……………419

編集後記

奥付